

平成28年度事業実施状況・評価に  
対する意見書

平成29年12月20日

さいたま市長 清水 勇人 様

さいたま市社会福祉審議会  
児童福祉専門分科会  
(地方版子ども・子育て会議)  
会長 吉川 はる奈

さいたま市子ども・子育て支援事業計画「さいたま子ども・青少年  
のびのび希望（ゆめ）プラン」平成28年度進捗状況について（具申）

去る平成29年11月2日（木）に開催した平成29年度第2回さいたま市  
社会福祉審議会児童福祉専門分科会（地方版子ども・子育て会議）において、  
標記計画における平成28年度進捗状況及び評価について審議し、本分科会（地  
方版子ども・子育て会議）の意見を別紙のとおり取りまとめたので、ご配慮く  
ださい。

## さいたま市子ども・子育て支援事業計画

### 「さいたま子ども・青少年のびのび希望（ゆめ）プラン」

#### 平成28年度進捗状況及び評価について意見

- 1 「妊産婦・新生児訪問事業」及び「ハローエンゼル訪問事業」について、対象となる家庭のほぼすべてを訪問していること、及びエンゼル訪問員の努力を高く評価する。  
また、本市では保健師などの専門家だけでなく、子育て経験者が訪問していることも評価する。  
ただし、訪問を担うエンゼル訪問員の負担軽減に努めること。
- 2 「子育てヘルパー派遣事業」の利用者にとって、家事や育児援助など必要とされる内容を1か所で行うことは重要で、意義がある。  
ただし、さらなる内容の充実やきめ細やかな対応に努めること。
- 3 待機児童対策のための保育所や放課後児童クラブの増設について評価する。  
ただし、子どもの安全の確保とその将来のためにも、保育所保育士及び放課後児童クラブ支援員の確保及び離職防止並びに質の向上に努めること。

以上、今年度実施する「さいたま市子ども・子育て支援事業計画（さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン）」の中間見直しにおいて、市民ニーズに沿った見直しを行うとともに、市民目線での計画の実行に努めるよう具申する。

以上